

## ・ 東南アジアの人形芝居

福岡正太（国立民族学博物館）

### 1. 東南アジアの芸能

糸あやつり、木偶人形芝居、影絵芝居、水上人形芝居など、東南アジアには様々な人形芝居がある。語り、歌、音楽、舞踊、演劇など、様々な芸能とつながる要素を人形芝居はもっている。



### 2. インドネシアのワヤン



ワヤン・ベベル



ワヤン・クリット



ワヤン・ゴレック

ワヤンは、1人のダラン（人形つかい、語り手）が物語を進行させる芸能の総称で、青銅製の打楽器を中心とするアンサンブルにより伴奏される。影絵芝居ワヤン・クリット、木偶人形芝居ワヤン・ゴレック、絵解きワヤン・ベベル、俳優が演じる演劇ワヤン・ウォン、仮面劇ワヤン・トペンなど、様々な芸能が含まれている。ダランは、1人で全ての人形をあやつるほか、語り、歌い、伴奏音楽もリードする。インドに起源をもつ物語ラーマーヤナとマハーバーラタなどを演じる。

### 3. カンボジアのスパエク・トム

スパエク・トムは大型の人形をもちいる影絵芝居である。人形のつかい手は、スクリーンの裏だけでなく表でも演技し、つかい手自身の舞踊的な体の動きも見せどころになっている。上演のかなめを成すのは歌うような語りであり、経験を積んだ演者が担当する。ラーマーヤナを題材とし、ピンピアットとよばれる伝統的なアンサンブルによる伴奏がつく。



#### 4. ミャンマーのヨウテー・プェー

ヨウテー・プェーは、糸あやつり人形による芝居である。サイン・ワインとよばれるアンサンプルの伴奏により演じる。ブツダの前世を描いたジャータカ物語などを演じる。



#### 5. ベトナムのムアゾイ・ヌオック

ムアゾイ・ヌオックは、池の中で演じる人形芝居である。演者はあやつり小屋のすだれの裏で、腰まで水につかりながら、長い竿の先に人形を取り付けて演じる。人形は手を動かしたり、回転したりする仕掛けがほどこされている。



ワヤン・クリットの人形をあやつる  
ダラン



ワヤン・クリットの人形



カンボジアの小型影絵芝居スバエク・トーチ



マレーシアのワヤン・クリット